

## 回復に向けた動きが続く県内経済

平成18年8月の県内経済は、消費面で緩やかな回復に向けた動きが見られ、投資動向の一部でも改善の動きが見られている。さらに、生産活動では化学など多くの業種で増加基調が続き、雇用面でも改善基調が維持されるなど、県内経済は回復に向けた動きが続いている。

- 〔消費動向〕 回復に向けた動き：8月の大型小売店販売額は前年同月比（以下、同じ）で増加が続き堅調であったが、乗用車新車登録台数は減少している。消費者物価指数は上昇し底固く推移している。個別企業の動向を8～9月で見ると、家電量販店や外食産業で売上増加が見られたが、ホームセンターや旅行業では盛り上がり欠けた動きとなっている。消費動向全体としては、一部に弱い動きがあるものの回復に向けた動きが見られている。
- 〔投資動向〕 一部に改善の動き：8月の公共工事前払取扱保証金額は減少し、民間非居住建物棟数も減少するなど低調であったが、新設住宅着工戸数は増加となり回復の動きを見せた。9月の公共工事前払取扱保証金額を見ると大幅な増加となっており、投資は一部で改善の動きを見せ始めている。
- 〔生産活動〕 増加基調：7月の鉱工業生産指数は横這いとなっているが、大口電力販売量は前年同月比で37ヵ月連続して増加を続けているなど、生産は増加基調にある。業種別に個別企業の動向を見ると、9月はニットなど一部で減産があったが、化学、鉄鋼・金属、情報通信機械、電子部品・デバイスなど多くの業種で増産となっている。
- 〔企業倒産〕 改善：8月の企業倒産は、件数が減少したものの負債金額は増加し悪化していたが、9月は倒産件数、負債金額ともに大幅に減少し改善している。
- 〔金融動向〕 貸出金増加基調：8月の貸出金は10ヵ月連続で前年同月を上回り、増加基調で推移している。
- 〔雇用動向〕 改善基調：有効求人倍率は対前年同月比で9ヵ月連続して上昇し、新規求人倍率も10ヵ月連続して上昇するなど、雇用は改善基調が続いている。

県内経済動向の概要

	項 目	7 月		8 月		9 月	
		前年同月比	前 月 比	前年同月比	前 月 比	前年同月比	前 月 比
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	↗	↗	↗	↗	—	—
	乗用車新車登録台数	↘	↘	↘	↘	↘	↗
	消費者物価指数（総合）	↗	↗	↗	↗	—	—
投資動向	公共工事前払保証取扱保証金額	↘	↘	↘	↘	↗	↗
	建設着工棟数（民間・非居住用）	↗	↘	↘	↗	—	—
	新設住宅着工戸数	↘	↘	↗	↗	—	—
生産活動	鉱工業生産指数（総合）注1	↗	↘	—	—	—	—
	大口電力販売量	↗	↗	↗	↘	—	—
企業倒産	企業倒産件数	↘	↘	↗	↗	↗	↗
	企業倒産金額	↘	↘	↘	↗	↗	↗
金融動向	預 金	↗	↗	↗	↗	—	—
	貸 出 金	↗	↗	↗	↗	—	—
雇用動向 注1	有効求人倍率（パート含む）	↗	↘	↗	↘	—	—
	新規求人倍率（パート含む）	↗	↗	↗	↘	—	—

良化 ↗ 良化傾向にあるがほぼ横這い ⇔ 悪化傾向にあるがほぼ横這い ⇐ 悪化 ↘

注1：季節調整済。

— 消費動向 —

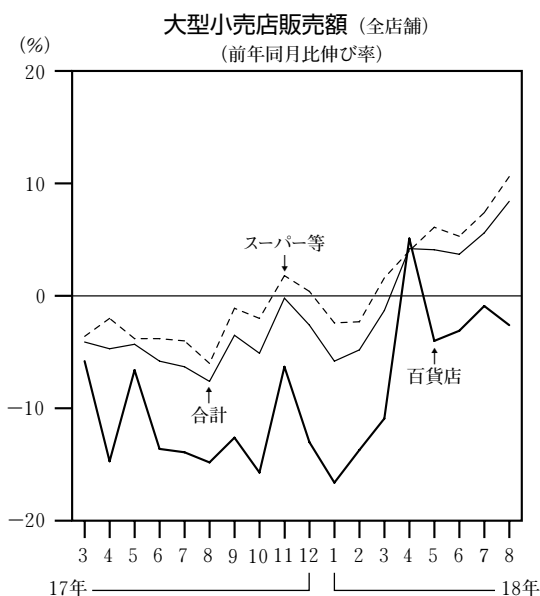
**大型小売店** 8月の県内大型小売店の販売額は197億14百万円（全店舗、店舗調整前）となり、前年同月比8.4%増と5ヵ月連続で前年を上回っている。既存店、店舗調整後では同1.5%減となり、売上増は新店舗効果によるものが大きいことが分かる。業態別にみると、百貨店は衣料品、食料品の減少により合計29億88百万円（同2.6%減）と4ヵ月連続で前年を下回った。スーパーでは、気温の上昇によって飲料類が伸びたことなどにより合計167億26百万円（同10.6%増）と6ヵ月連続で前年を上回った。

**乗用車販売** 9月の乗用車新車登録台数（軽乗用車含）は、6,945台で前年同月比4.8%減（前月比58.4%増）と6ヵ月連続で前年を下回った。車種別で見ると、軽乗用車は、2,419台（同6.7%増）と4ヵ月連続で前年を上回っているが、大型乗用車は790台（同13.7%減）と3ヵ月連続で、中小型乗用車は3,736台（同9.2%減）と12ヵ月連続で前年実績を下回った。また、8月の乗用車中古車登録台数（軽自動車は、名義変更を含む）は、9,722

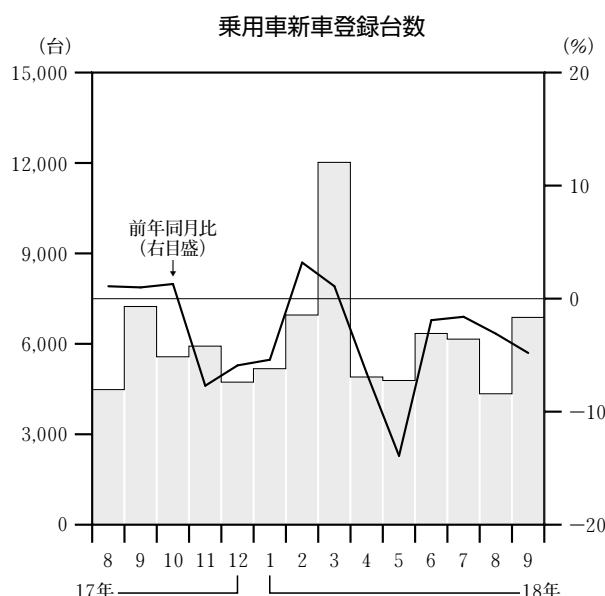
台と、前年同月比2.1%増となった。車種別にみると、普通（2000cc超）は、2,836台と前年同月比1.4%増、軽乗用車は2,865台と前年同月比8.2%増となったが、小型（2000cc以下）は4,021台と同1.2%減となった。

**消費者物価指数** 8月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成17年=100）が100.2と前月比で0.6ポイント、前年同月比では0.5ポイントそれぞれ上昇した。費目別の指数の動向をみると、「住居」は100.2と前月比0.2ポイント増、「交通・通信」は102.1と同1.0ポイント増、「食料」は99.5と同1.1ポイント増、「光熱・水道」は104.9と同0.4ポイント増となった。逆に「被服及び履物」は95.4と前月比2.1ポイント減、「保健医療」は97.6と同0.3ポイント減となった。「教育」では100.5と前月比横這いとなった。

**家電量販店** 9月は、地上波デジタル放送対応薄型テレビの売上が好調であり、特に大型画面の引き合いが増えている。冷蔵庫など白物家電は前年と同水準の売上となっているがデジタル一眼レフカメラも好調な売上となり、全体の売上も前年比で増加となっている。



(資料：経済産業省)



(資料：県乗用車販売店協会)

**ホームセンター** 9月は、大型ドラッグストアとの競合などにより、紙製品、化粧品など家庭用品の売上が伸びず、全体の売上は前年同月比でやや減少となった。

**外食産業** 9月の売上実績は、メニューの値下げなどにより、前年同月比で来店客数が大きく増加し、売上も増加している。

**旅行** 8月の旅行取扱い額実績のうち、国内旅行は個人、団体ともに前年比で減少し、海外旅行では、団体が減少しているものの、個人が大きく増加しており、全体の売上も減少となっている。

**高速道路** 9月の磐越自動車道5料金所の通過台数は、合計で437,683台（前年同月比2.3%減）となり、2ヵ月ぶりで前年を下回った。

料金所別では、猪苗代磐梯高原89,499台（同4.1%減）、磐梯河東104,056台（同3.0%減）、会津若松177,044台（同2.3%減）、会津坂下43,673台（同0.4%増）、西会津23,411台（同3.0%増）となった。

**福島空港** 9月の福島空港の利用状況は、国内便のうち、札幌便が12,671人（前年同月比15.1%減）、大阪便が18,050人（同2.9%増）、沖縄便で5,837

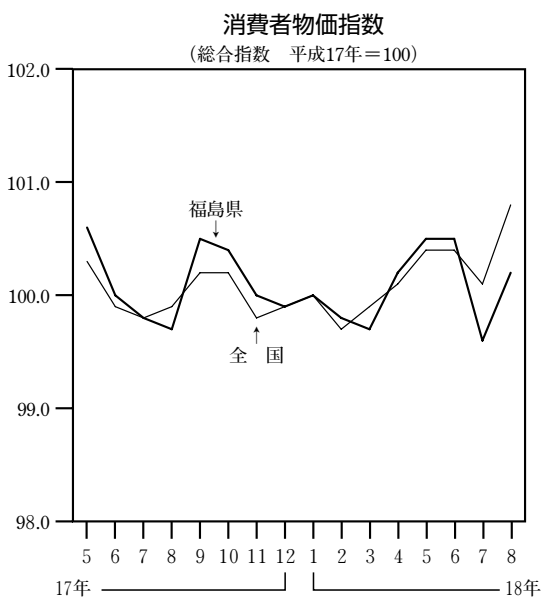
人（同3.4%減）、名古屋便は2,376人（34.4%減）となった。国際便では、上海便が1,487人（同1.2%増）、ソウル便は、4,643人（同24.6%増）となった。9月の搭乗率をみると、国内便が59.0%（同1.8ポイント減）、国際便が77.6%（同23.4ポイント増）となった。

## — 投資動向 —

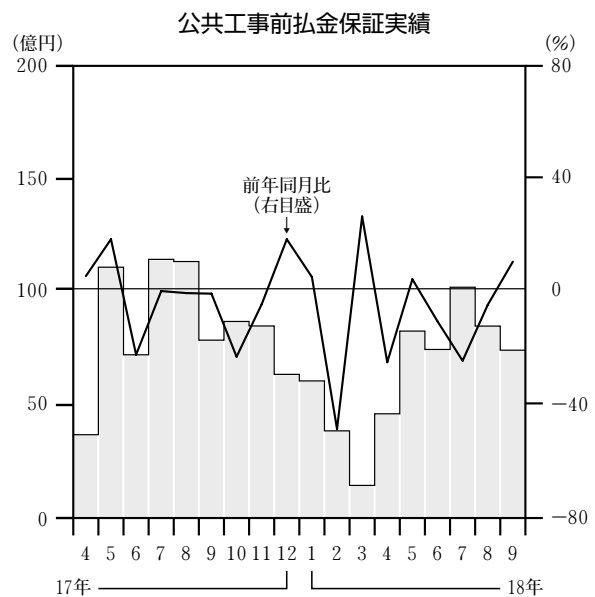
**公共工事** 9月の公共工事前払保証取扱いは、件数787件（前年同月比7.5%増）、保証金額95億7百万円（同11.1%増）、保証対象である請負金額は192億81百万円（同9.4%増）となった。増加の要因として高速道路工事の増加が挙げられる。

**設備投資** 8月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が249棟（前年同月比5.3%減）、床面積が108,221㎡（同18.1%増）、工事費予定額が143億86百万円（同39.0%増）となった。

**住宅建設** 8月の県内新設住宅着工戸数は、1,120戸と前年同月比9.2%増となった。利用関係別でみると、持家は636戸（前年同月比1.3%増）、貸家は412戸（同84.8%増）、分譲は56戸（同62.9%



(資料：総務省統計局)



(資料：東日本建設業保証㈱)

減)、給与住宅(社宅等)は16戸(同33.3%減)となった。

## —— 生産活動 ——

**鉱工業生産指数** 7月の鉱工業生産指数(速報値、季節調整済 平成12年=100)は、総合で101.1と前年同月比で2.0%減少し、前月比でも3.7%減少となった。業種別では、機械工業が115.7と前年同月比2.0%増、化学が89.8と同0.1%増、繊維が65.4と同6.8%減、食料品・たばこが74.6と同22.4%減となった。

**化学** 9月の食品包装フィルム用合成樹脂及び、フッ素樹脂、炭素繊維など高機能製品類は、海外向けの受注が増加しており、前年同月と比べて増産となっている。塗料用原料の酸化チタン、電子部品原料のバリウム化合物の受注が増加し、前年同月比で生産が増えている。

**鉄鋼・金属** 9月の鋳造品のうち、トラック用は、国内の排ガス規制による特需が終息し、海外向けの受注も減少しているため前年同月比で大きく減

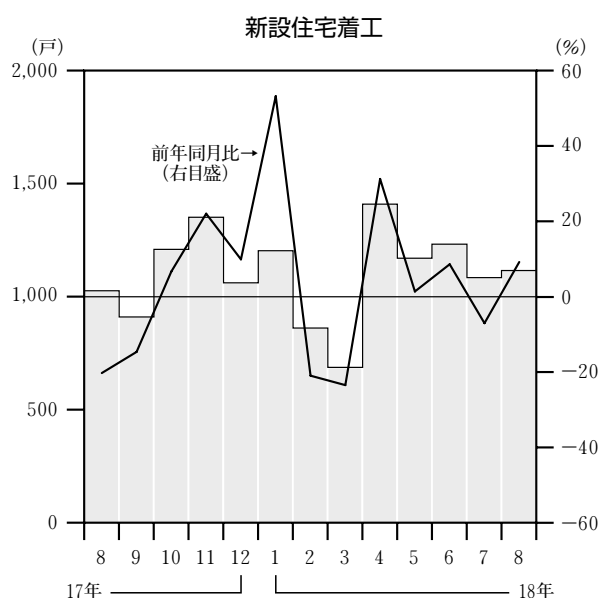
産となったが、電車車両用は、NYの地下鉄向け、建機用は北米、欧州向けの受注が好調なため生産を伸ばしている。船舶用バルブ部品も、受注が確保され、前年同様の好調な生産となっている。

**輸送用機械** 9月の自動車用ブレーキ部品は、受注が確保され、前年同月並みの生産を維持している。自動車用オイルシールは、国内向けの受注減少により生産を減らしている。

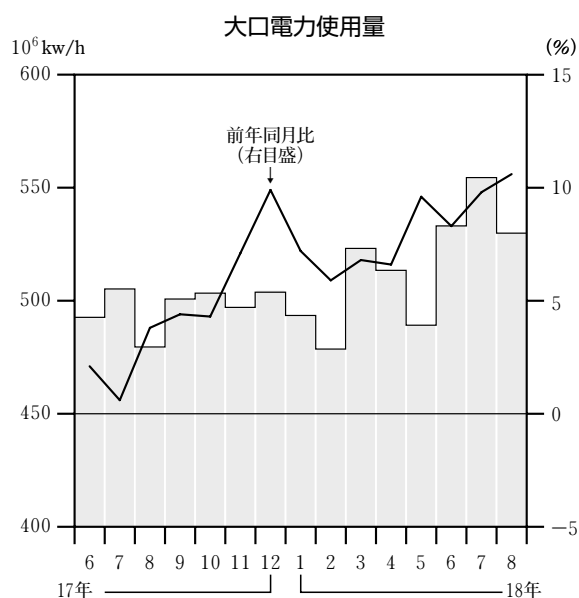
**電気機械** 9月は、変圧器で県外(関東など)の工場向けの受注が増加しており、前年同月比で生産が伸びた。配電盤、電熱炉などではやや減産となった。

**情報通信機械** 9月の生産は、携帯電話用マイクロ波通信機器の国外(アジア諸国)向けの受注が増加したため、前年同月比で増産となった。その他、衛星通信機器関連、OA関連などは、受注が確保されており、前年同月並みの生産水準となっている。

**電子部品・デバイス** 9月のLSI(大規模集積回路)は、薄型テレビ、ゲーム機、カーナビゲーション向けなどの受注増により、前年同月と比べて高



(資料：国土交通省)



(資料：東北電力福島支店)

い生産水準が維持されている。

**精密機械** 9月の医療用内視鏡は、海外からの受注が確保されていることと、前月までの生産の遅れの解消があり、前年同月比で大きく生産を伸ばした。9月のデジタル一眼レフカメラ用交換レンズは、国内外で安定的な受注があり、前年同月とほぼ同水準の生産となっている。

**紙・紙加工品** 9月の情報用紙は、FAX用感熱紙は受注が確保され、前年同月比で生産増となり、ノーカーボン紙も携帯電話用申込用紙の受注が伸びており、増産となっている。9月の段ボールは、果物など農産物向けの受注が好調のため、前年同月比で生産増となった。緩衝材も幅広い業種からの受注が増加しており生産を伸ばしている。

**窯業・土石** 9月の生コンクリート出荷量は、白河のトンネル工事とマンション工事及びいわきでのトンネル工事と発電所増築工事など、主に民間需要の増加により前年同月比12.8%増の150,822<sup>m</sup>³となった。

**木材・木製品** 7月の県内木材6市場の製材品入荷は、3,466<sup>m</sup>³（前年同月比0.2%増）、販売量は

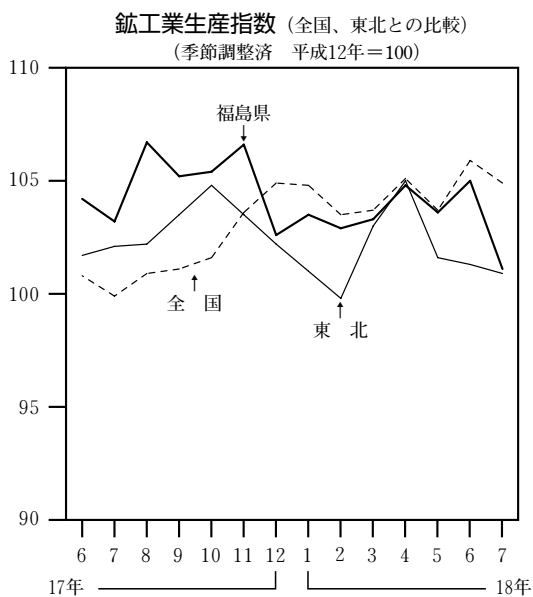
2,963<sup>m</sup>³（同不変）となった。また、県内9市場の素材入荷量は15,415<sup>m</sup>³（同29.0%減）、販売量は16,555<sup>m</sup>³（同21.0%減）となった。

**化合繊維物** 9月の化合繊維物のうち、ナイロンは、高機能製品（冬物衣料）の受注が確保され、前年同月比で生産を伸ばしている。一方、ポリエステルは、ナイロン増産の影響で、前年比でやや生産を減らしている。

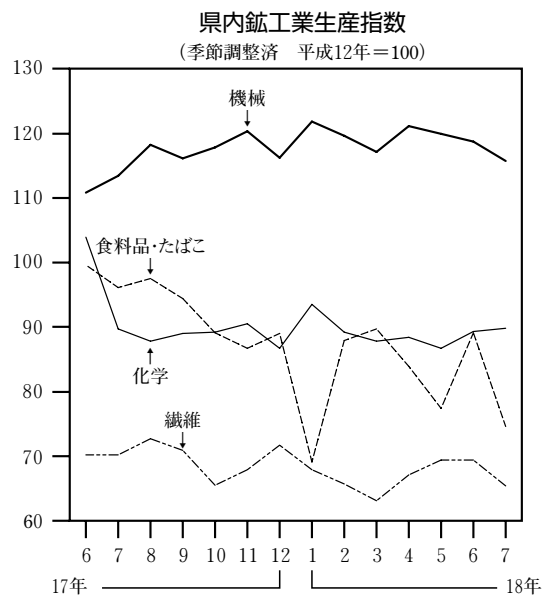
**清酒** 8月の清酒移出数量は1,250kl（前年同月比0.7%増）と、3ヵ月ぶりで前年を上回った。一般酒が838kl（同0.5%減）と3ヵ月連続で前年を下回り、特定名称酒は411kl（同3.3%増）と2ヵ月ぶりに前年を上回っている。

**ニット** 9月は、秋冬物の生産が最盛期であり、前年と比べると受注の小ロット化が急速に進んでおり、減産となっている。

**大口電力** 8月の大口電力販売量は、530百万kw/hと前年同月比10.6%増となり、前月比では4.4%減となった。主な販売先を業種別にみると、「電気機械」が122百万kw/h（前年同月比3.8%増）、「非鉄金属」が80百万kw/h（同16.3%増）、「輸送



(資料：県企画調整部 情報統計領域)



(資料：県企画調整部 情報統計領域)



用機械」が52百万kw/h（同11.3%増）、「一般機械」が32百万kw/h（同5.1%増）、「化学」が50百万kw/h（同18.3%増）、「食品」が17百万kw/h（同1.5%増）となった。

## —— 企 業 倒 産 ——

**企業倒産** 9月の企業倒産（負債総額10百万円以上）のうち、件数は2件と前年同月比14件減少して、同87.5%減少となり、負債金額は、9億89百万円と同89.6%減少し、ともに改善している。業種別では、建設業とサービス業がそれぞれ1件となっている。

## —— 金 融 動 向 ——

**資金需要** 県内金融機関（全国銀行、第二地銀、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の8月末の預金残高は6兆419億円と、前月比横這い、前年同月比では0.1%減となり、4ヵ月連続で前年を下回った。また、8月末の貸出金残高は、3兆8,980億円と前月比で0.1%増となり、前年同月比

でも1.3%増と10ヵ月連続で前年を上回っている。

**保証協会** 9月の保証承諾は、件数1,724件（前年同月比0.7%減）、保証金額156億9百万円（同2.5%増）となった。代位弁済は、件数57件（同32.6%増）、金額5億59百万円（同35.9%増）となった。

9月末の保証債務残高は、件数43,713件（同4.3%増）、金額3,094億26百万円（同2.1%増）となった。

## —— 雇 用 動 向 ——

**雇用動向** 8月の有効求人倍率（季節調整済、パート含）は、前月より0.03ポイント下降して0.87倍となったが、前年同月比では0.08ポイント上昇した。新規求人倍率（季節調整済、パート含）は1.21倍と前月比で0.09ポイント下降したが、前年同月比では0.02ポイント上昇した。8月の雇用保険受給者実人数は、10,240人（前年同月比13.8%減）と47ヵ月連続で前年を下回り、雇用は総じて改善傾向にある。

